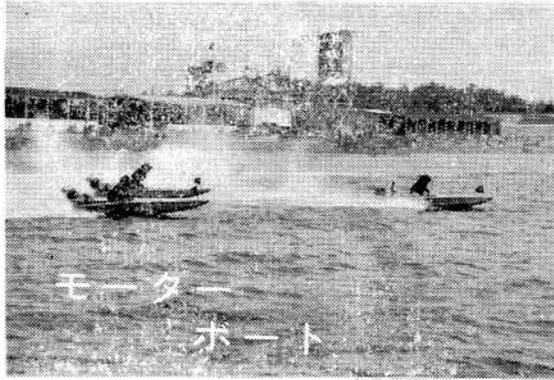


# 大村市政だより

## 業務状況等説明書 特集号

■昭和33年4月22日第三種郵便物認可 ■毎月3回1日・10日・20日発行 ■定価1部5円  
■発行所 大村市役所 ■編集人 総務課長 南野鹿松 ■印刷所 つじ印刷所

この特集号は、市が経営しているボート事業、水道事業、病院事業の状況を説明するものです。



一日平均六百五十万円  
売上↑前年比四十%増

### 市営企業 業務状況等説明書

#### 大村市告示53号

地方公営企業法第40条第1項並びに大村市営企業の業務状況を説明する書類の作成に関する条例第2条、及び第3条の定めるところにより、昭和39年度後期分の大村市営企業業務の動向及び財政事情を次のとおり公表する。

昭和40年6月23日

大村市長 大村純毅

#### 建設改良工事

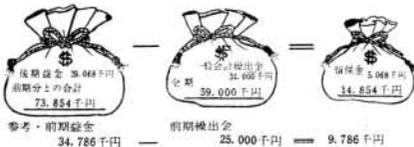
渡り廊下新設工事	245,000
艇庫外柵新設工事	408,933
競走用エンジン	10,500,000
ボート発着用浮棧橋	186,280
主審室新築工事 <small>(39年度中契約分)</small>	970,000

(2) 経理の状況  
後期の経理につきましては、別表のとおりで、一般会計への繰出金も前期とあわせて五千九百万円を支出することができました。

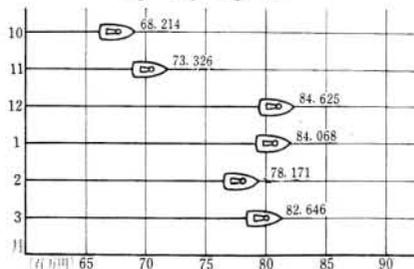
(1) 事業の概況  
前期に引き続き売上は順調に上昇いたしました。昭和三十九年四月から昭和四十年三月までの年間開催日数は百四十二日、一日平均売上は六百五十四万五千六百四十四円と前年度四百六十七万六千四百二十二円にくらべて約四十八パーセント増の実績をあげることができました。  
また、十月には競走用エンジンを更新し、施設面では主審室、写真室の改善などの整備を行いました。

#### (1) 事業の概況

#### 益金使用しらべ



#### 月別売上



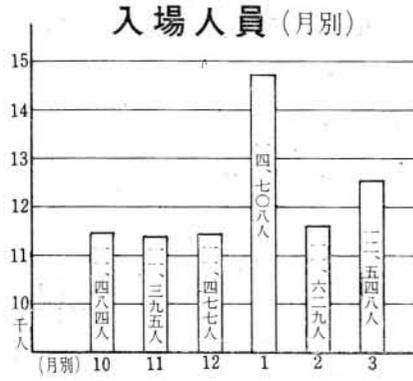
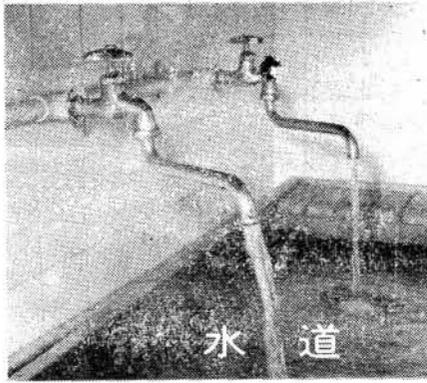
#### 経理の状況

区 分	子 算 額				合 計	予 算 額
	当初予算額	補正予算額	予備費充当額	費目流用額		
収益的収入	第1款 モーターボート競走事業収益	千円 720,709	千円 289,870	千円 0	千円 1,010,579	千円 1,007,942
	第一項 営業収益	719,238	290,083	0	1,009,321	1,006,244
	第二項 営業外収入	1,471	△ 2,13	0	1,258	1,698
	合 計	720,709	289,870	0	1,010,579	1,007,942
収益的支出	第1款 モーターボート競走事業費用	694,311	253,131	0	947,442	934,088
	第一項 営業費用	691,102	253,359	1,418	945,879	934,024
	第二項 営業外費用	859	△ 778	0	81	64
	第三項 予備費	2,350	550	△ 1,418	1,482	0
合 計	694,311	253,131	0	947,442	934,088	
差引当年度利益剰余金		26,398	36,739	0	63,137	73,854
資本的収入	第1款 資本的収入	0	106	0	106	149
	合 計	0	106	0	106	149
資本的支出	第1款 資本的支出	12,615	3,140	0	15,755	14,851
	第一項 建設改良費	12,115	3,140	465	15,720	14,851
	第二項 予備費	500	0	△ 465	35	0
合 計	12,615	3,140	0	15,755	14,851	

備考 ① 差引当年度利益剰余金73,854千円のうち59,000千円は一般会計へ繰出金  
② 資本的収入が資本的支出に対し、不足する額14,702千円は当年度損益留保資金 6,001千円引継現金 7,224千円及び引継貯蔵品 1,477千円で補填した。

(い)をとしてください

新料金で赤字を解消  
さらにサービスの向上も



(3) 企業債・一時借入金  
の状況  
企業債の借入れおよび一時借入金  
はありません。

建設改良工事

工事名	工事費	着工年月日	竣工年月日
芝野高シブ所 をくまのせつせつ	170,000円	昭和40.1.25	昭和40.2.8
池田向陽緑布設替	207,742	40.2.10	40.2.15
山田導水管 改修	200,000	40.3.10	40.3.20
合 計	577,742		

給水関係工事

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新設工事	4	19	20	8	13	29	103
増設変更工事	1	0	2	2	1	2	8
修繕工事	71	65	73	38	60	20	387
漏水修理	251	189	198	189	182	222	1,231
計	337	273	293	237	256	333	1,729

配水量表

区 分	配水量	一日平均配水量
10月	206,905 ㎥	6,674 ㎥
11月	202,090	6,736
12月	200,418	6,464
1月	191,610	6,181
2月	168,805	6,029
3月	194,497	6,274
計	1,164,325	6,397

※給水人口=34,574人

水道料金新旧比較表

種 別	区 分	旧料金	値上率	新料金	増収率
家 事 用	基本	150円	28.5%	一般用	34%
	超過	18	50		
	計	メーター25	39.2		
官公署学校用	基本	200	0	225円	43%
	超過	18	50		
	計	メーター25	25	27円	
営 業 用	基本	225	0	34%	
	超過	18	50		
	計	メーター25	25		
特殊大口用	基本	2,250	—	125	
	超過	18	—		
	(メーター)	(350)	8		
浴場営業用	基本	1,500	0	1,500	33%
	超過	12	50	18	
	計	メーター40	25		
共 用 検	基本	100	—	100	0
	超過	—	—	18	
	計	—	—	—	
計	—	—	—	—	48

註 新料金はメーター使用料は徴収しない。

経理の状況

(昭和40年3月31日現在)

区 分	予 算 額				合 計	予算執行額
	当初予算額	追加増減額	予備費充用額	費日流用額		
収益的収入	円	円	円	円	円	円
第一款 水道事業収益	53,468,000	1,776,000	0	0	55,244,000	37,730,385
第一項 営業収益	46,081,000	1,776,000	0	0	47,857,000	37,011,003
第二項 営業外収益	7,387,000	—	0	0	7,387,000	719,382
合 計	53,468,000	1,776,000	0	0	55,244,000	37,730,385
第一款 水道事業費用	53,468,000	1,776,000	0	0	55,244,000	55,510,868
第一項 営業費用	45,881,000	1,776,000	469,292	0	48,126,292	48,351,116
第二項 営業外費用	7,087,000	0	26,652	0	7,113,652	7,159,752
第三項 予備費	500,000	0	△ 495,544	0	4,056	0
合 計	53,468,000	1,776,000	0	0	55,244,000	55,510,868
資本的収入	3,001,000	0	0	0	3,001,000	3,414,210
第一項 他会計からの長短期借入金	3,000,000	0	0	0	3,000,000	3,000,000
第二項 臨時借入金	1,000	0	0	0	1,000	321,710
第三項 寄附金	—	0	0	0	0	92,500
合 計	3,001,000	0	0	0	3,001,000	3,414,210
資本的支出	9,123,000	0	0	0	9,123,000	9,089,732
第一項 建設改良費	4,582,000	0	700,000	0	5,282,000	5,249,589
第二項 企業債償還金	3,841,000	0	0	0	3,841,000	3,840,143
第三項 予備費	700,000	0	△ 700,000	0	0	0
合 計	9,123,000	0	0	0	9,123,000	9,089,732

企業債明細

起債目的	借入先	発行年月日	発行総額	償 還 高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期
				当年度償還高	償還高累計				
上水道施設事業費	大蔵省資金運用部	昭 23. 6. 30	700,000	63,066	560,205	139,795	700,000	7.0	昭 42. 3. 1
上水道拡大事業	"	28. 3. 31	10,000,000	1,012,323	6,543,848	3,456,152	10,000,000	6.5	43. 3. 31
上水道事業ダム分相金	"	36. 10. 30	20,000,000	412,232	1,161,649	18,838,351	20,000,000	6.5	61. 2. 1
"	公営企業金融公庫	37. 5. 31	15,000,000	1,153,848	1,153,848	13,846,152	15,000,000	7.4	52. 3. 20
"	大蔵省資金運用部	37. 5. 31	62,000,000	1,193,734	2,323,192	59,676,808	62,000,000	6.5	62. 2. 1
合 計			107,700,000	3,840,143	11,742,742	95,957,258	107,700,000		

一時借入金明細書

借入先	借入額	返済期限	備 考
親和銀行 大村支店	10,000,000円	昭和40年 4月1日	借入 限度額10,000,000円

給水工事指定業者施工分工事

業 者 名	新設工事	増設変更工事	備 考
大村給水設備工業所	159件	235件	指定昭和39.5.1
協和冷熱工業有限会社	93	124	39.8.15
合 計	252	359	

(1) 事業の概況

健康な日常生活を営むうえに最も重要な役割を果している本市水道事業は、文化生活の向上とともに給水量も年ごとに増加し、公衆衛生に大きく貢献しております。また、給水開始後三十余年を経過した本事業は配水管が老朽化し、送水能力の不足と給水戸数の増加にともない、給水区域周辺の拡張工事とも急務となっております。また、最近の物価の上昇人件費の膨張にともない、昭和三十九年度決算で単年度千七百七十八万円の赤字となっており、これらの解決を図るよう市民の皆さんのご協力を得て本年度より新料金を別表のとおり実施することになりました。

このことにより年次計画に基づいて諸懸案の問題を解決し、更にサービスの向上に努めるよう努力しております。現在の給水区域内の給水戸数は、三月末現在で六千七百八十六戸となっており、前期に比べ百二十六戸の増加となり普及率六十・四パーセントとなっております。

また、最近の需要の急増に対処するため、昭和三十九年四月より実施された給水工事指定業者は現在二店であり、その施工した工事は別表のとおりで、日ごとに着実な進歩を示

しております。

(2) 経理の状況

経理については別表のとおりで、昭和三十九年度は千七百七十八万四千八百三十三円の赤字決算（長崎市よりの寄付金は会計処理上借入として含む。）となっております。これは新料金の収入により弾力的

な経済性の發揮に努め年次計画により解消するものであります。

(3) 企業債・一時借入金現在の高

昭和三十九年度末における企業債の総額及び一時借入金の現在高は別表のとおりで、前者は建設改良工事費用として、後者は運営資金として借り入れたものであります。

のとおりです。

イ、損益勘定について

収益的収入額は一億六千五百五十七千七百七十九円で収益的支出額は一億五千九百二十五万八千七百七十四円であり、差引当年度純利益は五百七十九万九千六百六十二円であります。

ロ、資本勘定について

資本的収入額は一万八千円、資本的支出額は五百万一千九百五十円であり、差引不足額四百九十八万三千九百五十円は内部留保資金で補てんしました。

なお、三十八年度以前における繰上充用による予算執行と保険者負担の診療費が二カ月後に収入される関係で資金不足となり運営資金を一時借入金による外なく、従ってこれらの利息も多額におよび、資金繰りに困難を生じておる現況であり早急にその解決策が要求されます。

(3) 企業債・一時借入金の現在高

昭和四十年三月末の企業債および一時借入金の総額は別表のとおりであり、本年度中に支払済の企業債償還利息は二百九万二千六百四十四円一時借入金利息は四百三十七万九千四百円であります。



市立病院

医療の内容を充実

病床転用も計画

(1) 事業の概況

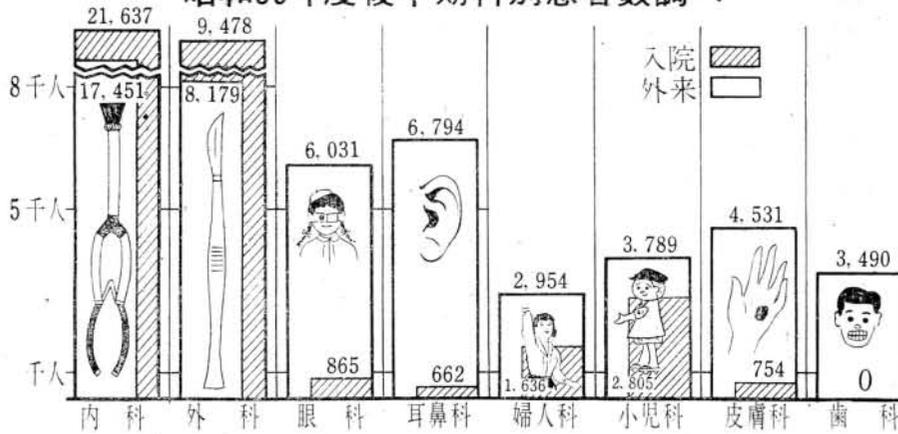
昭和三十九年度では、基準寝具の

本年度に限らず病院の経営は物価の高騰と人件費の増嵩によりますます困難を増して行くものと考えられますが、公的医療機関の使命と任務を自覚し市民の医療福祉の増進に一増の努力を払いたいと思えます。

(2) 経理の状況

本年度における経理の状況は別表

昭和39年度後半期科別患者数調べ



調剤数 (単位: 剤数)

月別	剤数
10	10,005
11	8,777
12	9,808
1	8,607
2	9,983
3	12,218
計	59,398
1日平均	367

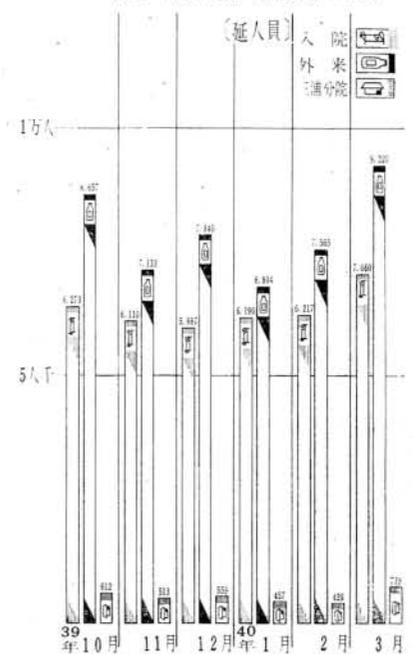
経理の状況

(昭和40年3月31日現在)

区 分	子 算 額				決 算 額	平 算 額	平 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減
	当初予算額	修正予算額	予算費支出額	統用増減額			
収益的収入							
第1款 病院事業収益	151,713	9,174	0	0	160,887	165,058	4,171
第1項 医薬収益	150,876	8,777	0	0	159,653	163,466	3,813
第2項 医薬外収益	837	397	0	0	1,234	1,592	358
合 計	151,713	9,174	0	0	160,887	165,058	4,171
収益的支出							
第1款 病院事業費用	151,713	9,174	0	0	160,887	159,258	1,629
第1項 医薬費用	145,067	7,982	407	0	153,456	151,788	1,668
第2項 医薬外費用	6,368	1,024	10	0	7,402	7,470	68
第3項 雑費	278	168	417	0	29	0	29
合 計	151,713	9,174	0	0	160,887	159,258	1,629
資本的収入							
第1款 資本的収入	0	18	0	0	18	18	0
第1項 基金等収入	0	18	0	0	18	18	0
合 計	0	18	0	0	18	18	0
資本的支出							
第1款 資本的支出	5,046	18	0	0	5,064	5,002	62
第1項 資本的支出	1,451	18	0	0	1,469	1,407	62
第2項 基金償還金	3,595	0	0	0	3,595	3,595	0
合 計	5,046	18	0	0	5,064	5,002	62

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 4,984千円は、当年度分損益勘定留保資金 4,984千円で補てんした。

昭和39年度後半期 患者数調 (月別)



企業債明細書

(昭和40年3月31日現在)

起債目的	借入先	発行年月日	発行総額	償 還 高		未償還残高	利率	償還終期
				当年度償還高	償還高累計			
病院建設費	郵政省	30, 5, 24	22,000千円	1,543千円	7,936千円	14,064千円	-6.5	47, 3, 31
全	上 大蔵省	30, 5, 26	1,300	223	1,300	0	--	39, 11, 1
全	上 郵政省	31, 3, 31	1,200	130	757	443	--	43, 3, 31
全	上 全 上	31, 4, 27	7,400	801	4,668	2,732	--	43, 3, 31
全	上 大蔵省	31, 7, 30	10,000	628	3,230	6,770	--	48, 3, 31
看護婦寄宿舎建設費	郵政省	3, 3, 30	2,000	134	787	1,213	-6.3	47, 3, 31
医師住宅建設費	大蔵省	33, 3, 31	5,000	136	697	4,303	-6.5	57, 2, 1
合 計			48,900	3,595	19,375	29,525	年平均	

一時借入金

(昭和40年3月31日現在)

借入目的	借入先	借入年月日	金額	利率	返済期日
運営資金	親和銀行	40, 3, 20	15,000千円	日歩 2銭4厘	40, 4, 5
〃	十八銀行	40, 3, 20	15,000	〃	40, 4, 5
〃	親和銀行	40, 3, 22	15,000	〃	40, 4, 16
〃	十八銀行	40, 3, 22	13,000	〃	40, 4, 16
合 計			58,000		